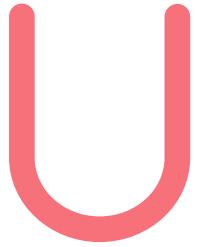
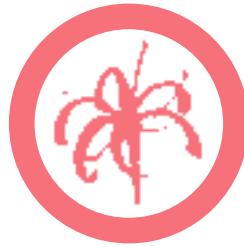


はまゆう



「桜並木」 撮影者：医事課 堀井 美里

整形外科外来

診療日／月～金曜日 午前
受付時間／午前8時半～11時半
診療時間／午前9時～12時

担当：小池 達也 部長
ながた ひろゆき
永田 浩之 医師
ふくやま けんたろう
福山 建太朗 医師

外科／消化器外科外来

診療日／月曜日～土曜日 午前
受付時間／午前8時半～11時半
診療時間／午前9時～12時

担当：荒居 琢磨 部長
あらい たくま
かとう しゅんじ
加藤 俊治 医長
しばた りえ
柴田 梨恵 医師

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。

公益財団法人日本医療機能評価機構 認定施設複合病院(一般病棟1・リハビリテーション病院・慢性期病院)機能種別版機能評価項目3rdG:Ver.2.0



日本医療機能評価機構

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表



この製品は、FSC®認証材、再生資源、およびその他の管理原材料から作られています。

理念

基本方針

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

1.利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にした医療とケアを提供します。

2.地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3.協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4.利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5.事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

6.質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7.観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。



公益目的事業へのご寄附のお願い

当法人の公益目的事業にご理解とご賛同をいただき、是非ご寄附をお寄せくださいますよう心よりお願い申し上げます。
皆様からの寄附金は、公益目的事業遂行のために有効に使用させていただきます。

事業目的

当法人は、白浜町及びその周辺地域の公衆衛生の向上と地域医療に関する事業を行い、もって地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。

事業内容(公益目的事業)

当法人は、国立病院等の再編成計画により廃止された元国立白浜温泉病院施設を、医療施設として再利用してほしいという地域住民の願いを実現するため、白浜町はじめ民間団体等の参画により開設された法人です。

現在白浜はまゆう病院、診療所、訪問看護ステーション、骨リウマチ疾患探索研究所を運営し、予防から治療、リハビリテーション、看取りまでの医療・ケアを提供し、地域医療の向上や地域住民、観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与する事業を行っています。

(1) 地域医療を主体とする病院の管理運営

(2) 救急医療の実施

(3) 介護保険法による介護医療院の運営並びに居宅介護支援事業及び指定居宅サービス事業等の実施

(4) 開放型病院による登録医への共同利用施設としての医療機器及び病床の提供

(5) 温泉を活用したリハビリテーションの推進

(6) 生活習慣病予防の健康診断及び健康増進並びにがん検診事業

(7) 無医地区及びへき地等における在宅療養支援診療所の管理運営

(8) 訪問看護ステーションの管理運営

(9) 医療・保健・福祉に関する調査研究並びに普及啓発

(10) 高齢者・障害者等の医療とケアに関する調査研究

(11) その他、この法人の目的を達成するための事業

税制上の優遇措置

当法人への寄附金には、特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除を受けることができます。(詳細は白浜はまゆう病院ホームページをご覧ください。)

寄附金の申込

白浜はまゆう病院ホームページに掲載しております寄附金申込書に必要事項をご記入の上、下記まで郵送・ファックスしてください。もししくは、下記までご連絡をお願い致します。

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地 白浜はまゆう病院内

公益財団法人白浜医療福祉財団 法人事務局

TEL 0739-43-6200 / FAX 0739-43-7891

新年度を迎えるにあたって

白浜はまゆう病院
院長 辻本 登志英



新年度を迎えるに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

2021年度は新型コロナウイルス対策が中心となる中で、嬉しいことが3つありました。一つは現病院顧問であり前はまゆう病院病院長である谷口友志先生が、白浜町社会福祉協議会より令和3年度社会福祉功労者表彰を受賞されたことです。長年にわたり白浜はまゆう病院病院長として白浜町の医療福祉に貢献されたことが評価されました。白浜医療福祉財団としても大変に誇らしい受賞でした。二つ目は当院看護師の瀬田京子さんと廣井啓子さんが、和歌山県医師会より永年勤続看護師として表彰されたことです。そして三つ目は当財団より永年勤続表彰された財団職員が、勤続10年で14名、勤続20年で7名おられたことです。この病院、財団施設を思い長年にわたり継続して支えてこられた皆さんには感謝の言葉もありません。これからも病院を支える屋台骨としてご尽力いただけるよう、改めてお願ひをする次第であります。

今回、医師として本年3月をもって退職されたのは、消化器外科医長山里有三先生、消化器外科医師小城正大先生、整形外科医師橘拓也先生です。

消化器外科医長山里先生は2019年4月より3年間にわたり当院で外科診療を務めて頂きました。外科医として豊富な知識と手腕を持ちつつ人間的にも素晴らしい先生であり、患者さんからの信頼も厚く、当地を去ることを惜しまれる町民の方々も多いと思います。また、小城先生も短期間でしたが外科チームとして欠かせない存在でした。本年4月から新たに来る先生には山里先生の考えを引き継ぎ、外科部長荒居先生のもとで十分に皆様方のニーズに応えられると確信しております。どうぞ安心して病院を訪れて下さい。整形外科医師橘先生は半

年間整形外科チームで活躍いただきました。当地を気に入り来られた先生で、診療にも愛情が溢れていたと思います。後任の先生にもきちんと引き継がれておりますので、どうぞ不安なく受診いただければと思います。

そして今年度より入職された方は医師6名、看護師11名、理学療法士2名、社会福祉士1名、事務職2名、薬剤師1名、臨床検査技師1名の合計24名であります。若い力、新しい力は白浜はまゆう病院、そして当財団施設をより発展させるための大きな力となります。繰り返される世代交代のなか、新しい世代として当財団に入職された皆様には、将来中心的な存在となりまた指導者となって次世代を育てる人物が生まれることを期待しているところです。

さて2019年暮れ、中国に端を発した新型コロナウイルス感染によって、2020年と2021年度は財団、はまゆう病院にとっても激動の2年となりました。これに対して財団職員一丸となり新型コロナウイルス対策を続けてきたことで、財団施設全体にふりかかった危機を乗り越えてまいりました。今後病院の体制は、新型コロナウイルス感染の収束とともに、2019年以前の体制に戻す予定です。しかし、2年あまりにわたり作り上げてきたコロナ体制を元に戻すには時間を要すると思われます。白浜町の皆さん、近隣の皆さんには今しばらくご迷惑をお掛けいたすことになりますが、できるだけ早く元通りの診療を行えるよう職員一丸となって取り組んでまいります。

【今年の病院目標】

本年初め、当院および財団職員に病院目標を上げました。住民の皆さんにとっては当たり前のことかも知れませんが、まずあいさつから始めましょうということです。

病院内外問わずあいさつは

「おはよう（ございます）」

「こんにちは」

「こんばんは」 を心がけます。

最後になりましたが、皆様方がより一層健康に留意され今年1年を前向きに過ごせますよう、心からお祈りいたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

新採用医師のご紹介



ふくやま けんたろう
福山 建太朗 医師

整形外科

4月より白浜はまゆう病院整形外科に赴任いたしました福山建太朗と申します。

広島大学卒業後は大阪市立大学整形外科に入局し、大阪府中心に勤務しておりました。このたび地域医療に従事する機会をいただき、貢献できるように精一杯、精進していきます。

まだまだ至らない点もございますが、患者様に寄り添った医療をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



かとう しゅんじ
加藤 俊治 医長

消化器外科

京都府立医科大学消化器外科より、4月から白浜はまゆう病院に赴任することとなりました加藤 俊治と申します。歴史ある紀州の地で働かせていただけたことに感謝しております。白浜のみなさまに信頼して頂けるよう良い医療を提供したいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



しばた りえ
柴田 梨恵 医師

消化器外科

京都府立医科大学消化器外科より転勤となり、4月から白浜はまゆう病院に勤務することになりました柴田と申します。

4ヶ月という短い期間ですが、白浜の皆様に寄り添った診療を行なっていきたいと思っています。外科疾患でお困りのことございましたら、気軽にお声かけください。よろしくお願ひいたします。



さかい よしひさ
酒井 喜久 医師

人間ドック・健診センター

私は岐阜大学を卒業し、名古屋大学大学院第2病理学講座で研究の基礎を学びました。その後、東京築地にある国立がんセンターにて癌遺伝子の研究を行い、国立精神神経センターを経て基礎研究のために米国に20年程留学しました。しかしながら、大学院生の頃より始めた健診歴はアルバイトも含めると研究年数以上に長く続いているです。

私のアメリカでの研究生活の始まりはフロリダ州タンパからでした。この街と似た環境の白浜にある当病院で健診の仕事が始められることを幸せに思います。



とちの ゆういち
栩野 祐一 医師

内科

2022年4月より川添診療所・白浜はまゆう病院に赴任致しました栩野と申します。まだまだ至らないこともあるかと思いますが、地域医療に貢献できるよう心がけていきたいと思います。よろしくお願ひします。



すなこ ゆみ
砂子 由美 医師

内科

初めまして。静岡県旧天竜市の生まれ育ちで、平成元年浜松医大卒、元麻酔科の一般内科医です。子育てと両親の介護・看取りを終え、今回こちらでの勤務をきっかけに白浜町にやってまいりました。よろしくお願ひいたします。

新採用職員の ご紹介



看護師 池田 聰美

白浜の海が好きで移住してきました。

今まで培った経験を生かし、少しでも早く貢献できるよう頑張りたいと思います。

看護師 竹原 朱音

新社会人で不安や緊張はありますが、思いやりの心を持って患者様に寄り添えるような看護師になれるよう頑張っていきたいと思います。

看護師 砂野 優華

皆と仲良く、助け合っていく関係を作りていきたいです。

看護師 西 葉月

この春から白浜町にきました。西と申します。明るく笑顔で頑張ります。よろしくお願いします！

看護師 谷口 真紀

見た目が、怖いとか、キツイと言われますが、ドガつく程天然で、内心ドキドキしています。1日も早く慣れてご迷惑をかけないように笑顔で頑張りますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。

看護師 大川 結鈴

新社会人で緊張しているが、笑顔をたやすく患者様と関わっていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

看護師 橋本 涼

長所は負けん気があるところ。たくさん笑うことです。長所を武器にこれから頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします！

看護師 江川 友望

緊張しやすいタイプですが、何事にも挑戦し患者様の声に寄り添いたいです。

看護師 栗山 啓

初めての仕事で不安もありますが患者に寄り添い思いやりのある看護を提供できるように努めていきたいと思います。

看護師 村上 敦志

学校で学んできた知識と技術、社会人経験を活かして、少しでも現場で活躍したいと思っています。

理学療法士 撫養 聰大

理学療法士の撫養聰大です。新しい環境での仕事で初めは慣れないですが、地域に貢献できるよう一から頑張っていいくのでよろしくお願ひします。

薬剤師 栗山 大希

みなべ町出身です。
患者さんや医療従事者の方から信頼される薬剤師を目指して頑張ります。

事務員 吉田 雄也

吉田雄也と申します。1日でも早く仕事を覚え、健康管理にも気を配り何事にも真摯な対応を心がけます。どうぞよろしくお願ひ致します。

看護師 河野 直也

病棟で働くのは約2年ぶりなので不安もありますが、地元に貢献できるよう、精一杯頑張っていきます。

臨床検査技師 杉野 真実

子供2人を育てながら大変ですが、先輩みたいに幅広い検査に詳しくなるよう頑張りますので、宜しくお願ひします。

理学療法士 太田 成美

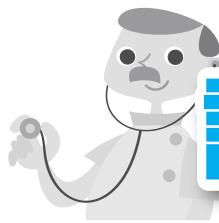
理学療法士として働きます。太田成美です。初めての社会人で不安も大きく、また極度の人見知りでコミュニケーションが苦手ですが、コミュニケーションが大事な職種だと思うので頑張って慣れ、また先輩達を見習いながら、勉強し患者様に尊敬される理学療法士になりたいです。

社会福祉士 南 紀子

患者様やご家族、関係機関の方々にとって身近な存在となれるようがんばります。
よろしくお願ひいたします。

事務員 上田 涼

なるべく早く仕事に慣れ、病院の役に立てるよう努力します。
新社会人なので不安でいっぱいですが頑張っていきたいです。



診察室からのお話

～乳腺外科のご紹介～

白浜はまゆう病院乳腺外科の粉川庸三と申します。

2017年に当院へ赴任し、5年が経過しました。乳がん患者さんが笑って暮らせるようにという目標を持ち日々診療にあたっております。大穏なく過ごせており、志を同じくする当院のスタッフや近隣施設の皆さんに感謝しております。

乳がんは増加しており、いまでは女性の9人に1人、年間9万5千人弱が罹患し、1万5千人弱が亡くなると報告されています。好発年齢は40歳ごろから増えはじめ、60～70歳代にピークを迎えます。その年代の女性は子育て、介護、仕事において重要な働きをされており、本人だけでなく周囲への影響も極めて大きくなります。患者さんだけでなく家族、ひいては社会全体を見ながらの治療計画が必要です。医療職だけでなく介護、事務職など多くの職種が協力することによって成り立ちます。当院は優秀なスタッフに恵まれていますが、残念ながら看護師さんの人員不足がとりわけ目立っています。看護師さんに限らず乳がん診療に興味のある方、ひいては白浜はまゆう病院に興味のある方は是非、ご連絡いただけすると幸いです。

副院長を拝命したことで、臨床だけでなく、地域の医療問題などを考えることも増えました。当院に通院される乳がん患者さんは沿岸では紀中から三重南部まで、内陸では奈良南部までと広範囲に及びます。乳がん研究の進歩で多くの治療選択肢が増えて喜ばしいのですが、それを享受するには地域間格差が大きくなっています。本来ならば、コロナ禍での移動制限により気付かされた地域完結型の医療を目指すべきなのですが、人工物（シリコンバッック）を用いた乳房再建や遺伝性乳がん卵巣がん症候群に対する予防的乳房切除など、形成外科や遺伝診療部がないと行えない治療もあります。前述のような和歌山市内（和歌山県立医科大学、和歌山日赤医療センター）に行かねばならない治療は仕方ありませんが、標準治療は当院でも十分可能です。都市部の大病院と地域の基幹病院間の連携を充実させることで、どこに住んでいても同じレベルの医療を提供できるものと考えています。

乳がんは早期発見すれば治る可能性が高いがんです。しこりなど症状を有している方はもちろん、不安な気持ちを持っておられる方もお気軽に受診していただければ幸いです。



副院長・乳腺外科部長
粉川 庸三

各部署から



～リハビリテーション室のご紹介～

理学療法科、作業療法科、言語聴覚科について

こんにちは。リハビリテーション室です。リハビリテーション室には理学療法科、作業療法科、言語聴覚科があり、今回はそれぞれの紹介をさせていただきます。

■理学療法科 理学療法科科長 大西 智子

理学療法科には35名の理学療法士が在籍し、病気や怪我をした方の機能回復や自宅への退院などを目標に、座る・立つ・歩くなどの基本的な動作練習やストレッチ、筋力トレーニングなどの運動を行っています。また物理療法では、温熱や電気刺激等を用いて、痛みの緩和なども行っています。回復期リハビリ病棟では、足の補装具を使用し複数名の療法士が協力して、重症な方に対しても歩く練習を行っています。また、地域連携室を通じ、白浜町・他自治体から地域住民に向けた各種運動・健康講座や患者の会からの講師依頼があり、年間30回程度地域へ講師を派遣しています。



■作業療法科 作業療法科科長 北本 健太郎

作業療法科では、障害のある方に対して、自宅への退院などを目標に身辺動作（排泄、更衣、食事、入浴など）の練習に加えて、麻痺などの改善を目的とした色々なトレーニングや電気刺激療法なども取り入れています。退院後に自動車運転の再開を希望される方に対しては、運転技術における評価・練習をサポートすることを目的に、ドライビングシミュレーターを導入しています。当院は紀南地方では人数が多く18名の作業療法士が在籍しており、また、県内でも先駆けて日本作業療法士協会から臨床実習指導施設の認定を受け、リハビリテーションの未来を担う学生の教育にも微力ながら協力させていただいております。



■言語聴覚科 言語聴覚科主任 土井 真衣

言語聴覚科では、言葉の理解・話す・読む・書くことなどが難しくなる失語症や呂律が回りづらくなる構音障害、食べ物が飲み込みづらくなる嚥下障害、注意力や記憶力の低下などの高次脳機能障害のある方に対しリハビリを行っています。1人1人の状態に合わせたコミュニケーション方法、食事調整、生活復帰や復職に向けて、記憶や知能検査のような客観的な評価を取り入れてリハビリを行っています。当院は紀南地方では人数が多く9名の言語聴覚士が在籍しており、回復期リハビリ病棟では365日の実施や急性期～回復期、療養病棟や介護医療院、外来などの生活期まで幅広く診させていただいております。



今もこれからも、地域の皆様と一緒に、笑顔で元気に過ごしていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

表彰を受けました

廣井啓子看護部長と瀬田京子看護師の2名が、和歌山県医師会より15年以上勤続した看護師に送られる令和3年度看護部永年勤続表彰を受けました。

新型コロナウイルス感染対策のため現地での表彰式はありませんでしたが、辻本院長から表彰状と記念品が授与されました。

2022年2月3日に社会福祉協議会本部にて、谷口友志顧問が社会福祉協議会より、医療関係者として、長年にわたり地域医療・福祉の増進に寄与し、特に功績のあった方に送られる社会福祉功労者表彰を受けました。



和歌山県医師会看護師永年勤続表彰



社会福祉功労者表彰

永年勤続表彰式を開催しました

2022年3月10日、白浜はまゆう病院会議室にて永年勤続表彰式を開催しました。

例年、院内研究発表大会の場でこの表彰式を行っていましたが、今年も昨年同様、新型コロナウイルス感染対策のため関係者ののみ出席のなかで行われました。

永年勤続表彰(勤続10年) 被表彰者氏名

理学療法士	藤原 亜沙美	訪問看護ステーションたんぽぽ作業療法士	杉山 厳勇
看護師	宮本 弘美	看護補助者	石山 弘誉
看護師	田口 理恵	介護福祉士	土井 健太
介護福祉士	三橋 泰子	訪問看護ステーションたんぽぽ看護師	藤田 砂緒里
看護師	太田 恵子	看護師	永田 千雅
介護福祉士	玉置 政行	日置診療所 看護師	森 佳代子
主任看護師	須崎 智之	准看護師	豊田 清美

永年勤続表彰(勤続20年) 被表彰者氏名

介護福祉士	山本 公子
准看護師	楠 美穂
主任作業療法士	神谷 克二
事務長	布袋 仁也
薬局長	木下 純
主任看護師	川北 愛
総務課副主任	尾野 啓介



白浜はまゆう病院永年勤続表彰記念撮影

一週間のバランス献立



食養科

古井 啓詞

管理栄養士が伝えたい日々の食事のポイントについてご紹介いたします。

食事の基本は主食・主菜・副菜をバランス良く組み合わせることです。

1週間を目安に色々な食材で、調理法・味つけ等を工夫しながら食事を楽しんでみてください。

組み合わせることで様々な種類の栄養素を摂ることができます。

栄養素の豆知識 ビタミンAについて

・皮膚や粘膜の健康を保ち、抵抗力を強める。

・目の機能を正常に保つ。

・胎児や乳児の成長促進にも関わっている。多く含む食品:レバー、鰻、卵黄、バター、ほうれん草 など

	朝	昼	夕
日	米飯・味付海苔 卵とじ 味噌汁・牛乳	米飯・鶏肉南蛮漬け焼き マカロニサラダ・チンゲン菜磯和え・漬物	米飯・サワラの柚子風味焼き かぼちゃベーコン 胡瓜の酢の物・果物
月	ロールパン・はちみつ 豆乳チャウダー・牛乳・果物	米飯・赤魚の木の芽焼き さつまいもレモン煮 チキンサラダ・漬物	米飯・親子煮・大根煮物 白菜昆布和え・果物
火	米飯・ふりかけ・じゃがいも煮物 味噌汁・牛乳	米飯・豚プルコギ風・果物 豆腐のみぞれ煮・いんげんごま和え	米飯・鰯カレーフライ 果物・大根田楽 春雨サラダ
水	ロールパン・ジャム コンソメスープ 牛乳・果物	米飯・鶏肉の照り煮・漬物 ビーフ入り野菜炒め かぼちゃのマヨ和え	米飯・サバの煮付け ふきと筍の土佐煮 卵のサラダ・果物
木	米飯・味付海苔 だし巻き卵・味噌汁・牛乳	彩りちらし がんもどき煮物 吸物	米飯・鰯の南部焼き・果物 里芋なると煮 白菜ゆかり和え
金	ロールパン・ジャム・果物 キャベツの炒め物・牛乳	米飯・あじの蒲焼き・漬物 里芋そぼろ煮・ほうれん草のナムル	米飯 和風ハンバーグ・さつま芋サラダ 青菜わさび和え・フルーツ寒天
土	米飯・ふりかけ ほうれん草ソテー・味噌汁・牛乳	米飯・サバの味噌煮・漬物 白菜の炒め煮・和風サラダ	米飯・豚肉ピーナツ炒め 蓮根土佐煮 キャベツシラス和え・漬物

筍に含まれる、栄養成分には様々なものがあります。チロシンという栄養素は脳を活性化させる働きがあります。アグが多く含まれているので、食べ過ぎには注意が必要です。

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 43-7880(受付) 43-6200(代表)

診療科		月	火	水	木	金	土
内科	内科1(初診)	午前	辻本 登志英	加藤 寛正	竹井 陽	棚野 祐一	中西 一郎
		午後					
	内科2(再診)	午前	岡 宏保	伊藤 揚荘		松尾 晃次	辻本 登志英
		午後			松尾 晃次	岡 宏保	
	内科3(再診)	午前		辻本 登志英	中村信(第1・3・5)		加藤 寛正
		午後	中村 信男	渡辺(第1)	中村 信男	(診察は内科1使用)	加藤 寛正
	内科4(再診)	午前	竹井 陽	松本 潤	棚野 祐一	谷口 友志	
		午後	松本 潤	木下 正博	山下 泰伸	竹井 陽	
	内科5(再診)	午前			谷口 友志	伊藤 揚荘	
		午後	國部(禁煙外来)		谷口 友志	松本 潤	谷口 友志
外科／消化器外科	午前	柴田 梨恵	荒居 琢磨	加藤 俊治	加藤 俊治	柴田 梨恵	当番医
整形外科1(予約)	午前	永田 浩之		小池 達也		岩切 健太郎	
整形外科2	午前	福山 建太朗	福山 建太朗	永田 浩之	福山 建太朗	永田 浩之	
リウマチ専門外来(予約)	午前		小池 達也		小池 達也		
装具外来	午前		装具外来		装具外来		
小児科	午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋
	午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋	古久保 和洋	
婦人科	午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也			
	午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	
乳腺外科	午前	粉川 庸三	粉川 庸三		粉川(予約)	粉川(予約)	
脳神経内科(予約)	午前	中西 一郎	中西 一郎				
	午後		石口 宏		小口 健		
泌尿器科	午前	木村 泰典	木村 泰典	川嶋 秀紀	木村 泰典	木村 泰典	当番医
	午後	川嶋 秀紀		木村 泰典			
泌尿器科(専門外来)	午後	川嶋 秀紀 (泌尿器癌相談外来)			川嶋 秀紀 (泌尿器癌相談外来)		
皮膚科	午前						県立医大
	午後	県立医大					
眼科	午後			担当医		井村 良子	
耳鼻咽喉科(予約)	午後				県立医大		
脳神経外科	午前				尾崎 充宣		
	午後				中北(予約)		
循環器外来(予約)	午前	岡 宏保		中村信(第1・3・5)			
	午後	中村 信男	渡辺(第1)	中村 信男	岡 宏保		
呼吸器外来(予約)	午前				松尾 晃次		
	午後			松尾 晃次			
消化器専門外来	午前		加藤 寛正	谷口 友志	谷口 友志	加藤 寛正	
	午後			谷口／山下		谷口／加藤	
循環器・高血圧専門外来(予約)	午前						担当医(月2回)
膠原病・糖尿病専門外来(予約)	午前		伊藤 揚荘		伊藤 揚荘		
リハビリテーション専門外来(予約)	午後				村井 昂太		
通院リハビリテーション外来	午前	谷口 友志	村井 昂太	担当医	村井 昂太	岡 宏保	
	午後	岡／國部	谷口／岡	谷口 友志	國部 久也	岡／松尾	

※火曜日午後 内科3診/循環器外来…第1(渡辺) ※水・金曜日午後 眼科…予約外は先着5名までとさせていただいております。

2022.5.1～

※月・火曜日午前 脳神経内科 中西一郎(予約不要) ※診療担当医が変更になることがあります。ご了承下さい。

受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00
循環器外来(月 第2・4水)	(予約制)	14:30～17:00
循環器外来 第1・3・5(水)	(予約制)	9:00～11:30
循環器外来(火)	(予約制)	14:00～16:30
皮膚科(月)	13:00～15:15	13:00～15:30
眼科(水)	13:30～15:30	14:00～16:30
耳鼻咽喉科(木)	14:00～16:30	14:30～17:00
リハビリテーション専門外来(木)	(予約制)	14:00～17:00
循環器・高血圧専門外来(土)	(予約制)	9:00～12:00

※診療時間外(夜間・休日)に具
合が悪くなったときは、日時
に関係なく受付しますので、
白浜はまゆう病院へ電話で
ご連絡ください。



公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院長 辻本 登志英

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 [E-mail]info@hamayu-hp.or.jp [URL]http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西富田クリニツク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地	TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678
■鮎川診療所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川1583番地の3	TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005
■日置診療所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1	TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192
■三舞診療所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地	TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001
■川添診療所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地	TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037
■訪問看護ステーションたんぽぽ	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682
■通所リハビリテーションセンター	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)8190 FAX.0739(43)8189